

桑島地区 地域福祉活動計画

1. 地区の概要

地区人口	4,079人	民生委員児童委員	7人
65歳以上人口	1,337人	幼稚園・保育所 認定こども園	2か所
高齢化率	32.8%	小・中学校	1校
年少者(0～14歳)人口	409人	令和4年3月31日現在	
人口の増加	△5.8ポイント	鳴門市全体の数値	△6.8ポイント
65歳以上人口の増加	4.0ポイント		2.6ポイント
年少者人口の増加	△18.4ポイント		△15.3ポイント
高齢化率の増加	3.1ポイント		3.3ポイント

※ 数値は平成30年から令和4年までの間の増減を表しています。

2. 地区の現状と課題 (地域座談会で出た意見などをまとめています。)

- 自治会などの地域活動に参加する住民が減ってきている。(特に若い世代)
- コロナ禍の中で地域活動が充分に行えていない。
- 地域内に空き家が目立つようになってきた。防犯や防災の面から不安がある。
- 個人情報保護の観点からやむを得ない部分もあるが、近所にこういった世帯が住んでいるのかわからない。
- 市内の中心的地域であり各種施設も充実しているため、生活上の不便は少ない。
- 年1回の防災訓練は地域全体で取り組んでおり、幅広い世代が参加できている。
- コロナ禍のため地域活動が出来ていなかったが、落ち着けば以前のような活動はできると思っている。
- 自治振興会、小学校、PTAの協働で「子ども見守り隊」活動を行っており、児童の安全な登下校が出来るよう取り組んでいる。

3. 地区で取り組むこと

地域活動の継続と次世代への継承

1. 学校やPTAと連携して、子どもやその親世代が参加しやすい行事を開催するなど、若い世代の地域活動参加に向けたきっかけづくりを進める。
2. 市職員や元職員など、地域活動に理解があり協力的な人材が確保できるよう努める。

住民同士が繋がって支えあう仕組みづくり

1. 「子ども見守り隊」の活動を拡げ、高齢者世帯を訪問することで安否確認を行うとともに、会話などにより孤立化を防ぐ取り組みを行う。
2. 買い物や外出支援の必要性について高齢者等の意向を調査し、必要性が増した際に円滑に進められるよう準備を行う。

次世代につなぐ防災コミュニティづくり

1. 集合住宅など、地域団体に加入していない世帯への情報発信や支援体制づくりについて検討していく。
2. 災害時に備えて、SNSの活用による住民間の情報共有や連絡体制の整備を進めていく。
3. 地域の事業所や福祉施設などと連携した防災訓練を行い、津波避難場所や避難所について情報共有が行えるよう検討していく。

